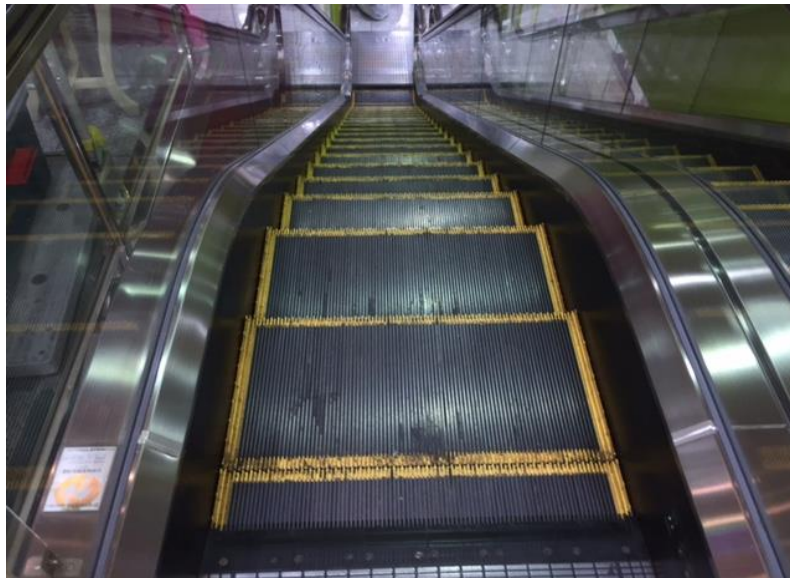
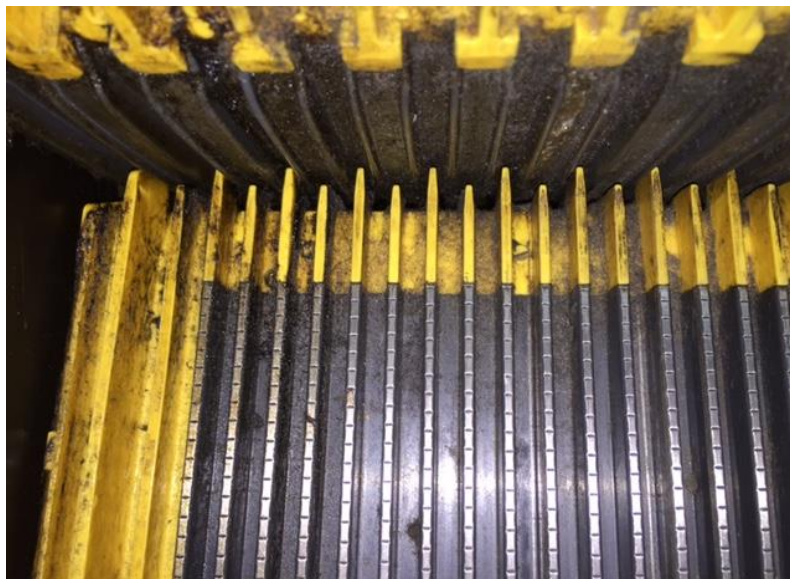


# 福岡 遊戯施設PH

No.1



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
約13年前に設置	
九州でも随一の集客数を誇る遊戯施設のエスカレーターが対象。利用頻度が高く経年数以上に汚れていた。800幅であったが600幅のクリーニングパッドで清掃する。そのため清掃効果および効率に若干影響する。	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>5段階評価 汚れランク D</b>	
駆動部のグリースが浮き上がり埃と結合したスラッジとなり埃と結び付いている。黄色のデマケーションラインは巻き込み防止の注意を促すのが目的だが、かなり黒く汚れており利用者にとって危険な状態となっている。	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅 800タイプ	
<b>清掃前</b>	
ほぼ全てのステップが写真と同じように汚れていた。蓄積された汚れはかなりこびり付いており、モップや箒などでは簡単に落ちない状態。ステップ上には駆動部の油分が薄く浮き上がり雨の日などは転倒事故の危険がある。	

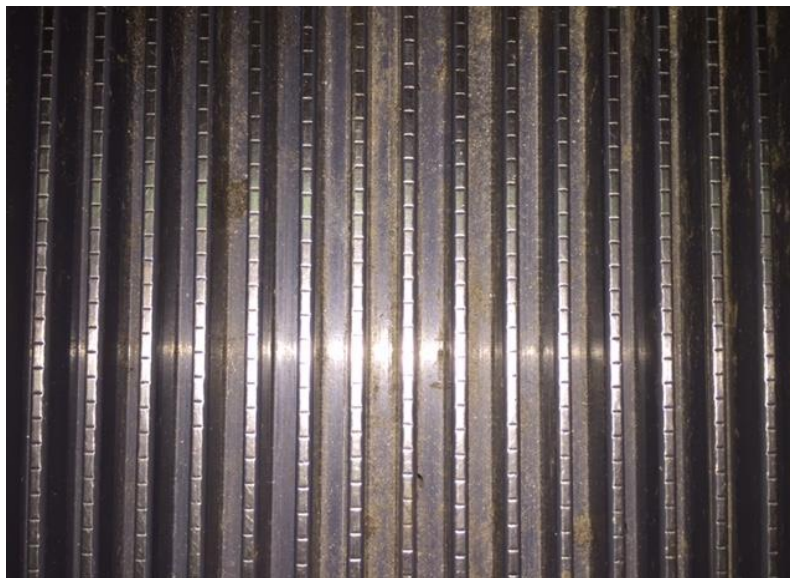




設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃前</b>	
<p>こびり付いた油汚れのスラッジは酸化傾向にありエスカレーターを痛める原因となっている。放っておくとこびり付きながらどんどん蓄積していく。縦のライザー部分にも汚れがこびり付いているのがよくわかる。</p>	



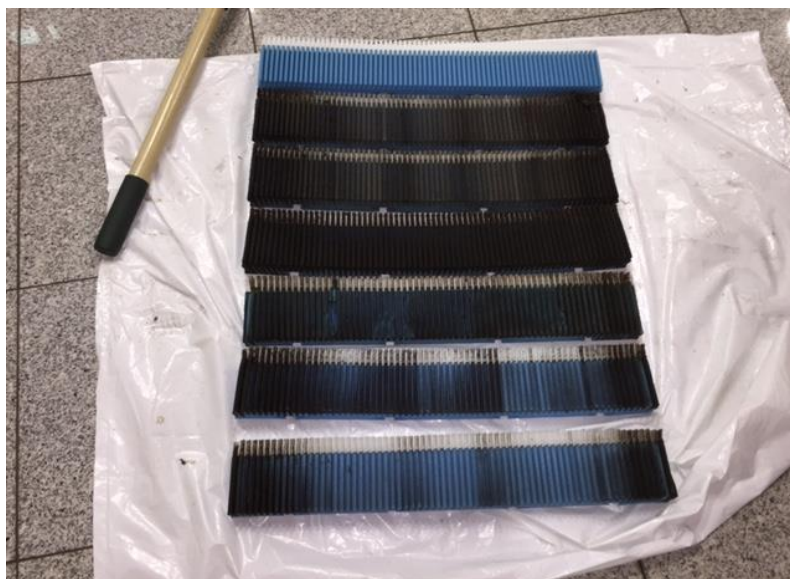
設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃前</b>	
<p>目には見えにくいですが油分がステップ上を薄く覆っているのて滑りやすくなっており、安全性上でも問題がある。溝の底も乾いた埃だけでなく油を含んだ真黒なスラッジ汚れがこびり付いている。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃前</b>	
<p>汚れが比較的少ないはずの中央部分にも溝の底に長年の埃がこびり付いている。この溝の底のこびり付いた汚れは簡単には落ちない汚れである。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
清掃作業中	
<p>最初の埃とりのドライ清掃。真っ白なデバイスの上に真っ黒な埃が舞い上がって付いている。指でなぞった白い部分と比較すると良くわかる。洗浄液を使用するセミドライ清掃前に埃を取ることでよりきれいに仕上がる。</p>	

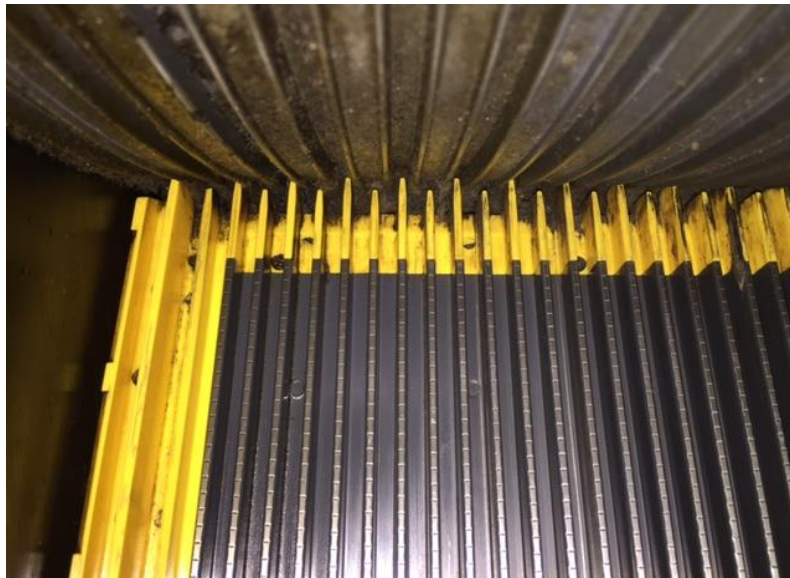


設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
600mmのクリーニングパッド 6本使用	
<p>本来800mmのパッドで清掃するところを600mmのパッドで清掃したため、また酷く汚れている状態での初回清掃だったのでパッド6本を使用する。上から1,2本目は埃取りのドライ清掃→3～4本目は通常のセミドライ清掃→5～6本目はドライ清掃で施工する。800のパッドであれば4～5本の使用と想定される。パッドは水洗いで約10回再利用が可能。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
清掃後	
<p>溝の底に溜まっていた長年の埃がきれいに取り除かれ、地金も綺麗に見える。デマケーションラインも歴然ときれいになり、本来の巻き込み防止の役目をしっかりと果たしている。しかし、長年の蓄積した汚れは頑固でまだ完全に切り切れていない。</p>	





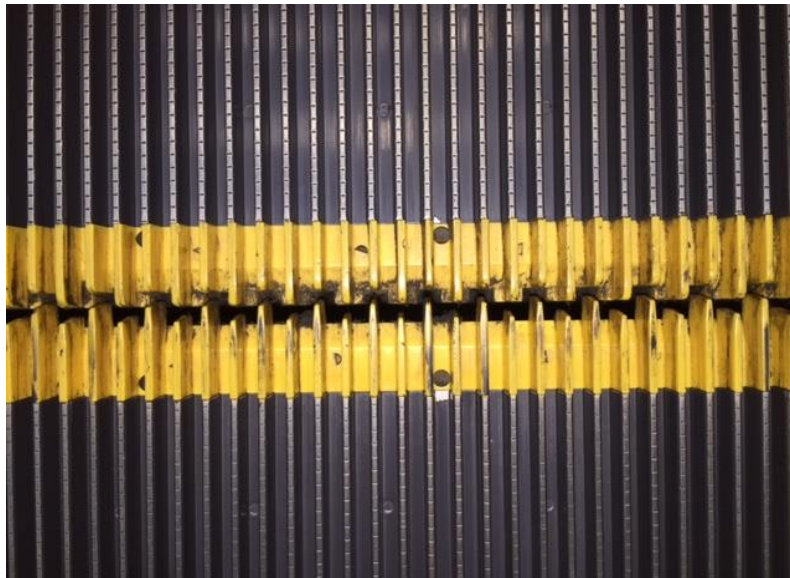
設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>ステップ面の油分が除去されるときわめて滑りにくい状態となり、転倒事故などの安全性が格段にアップする。美観のみでなく、エスカレーターの耐久性と安全性が格段にアップする。残っている汚れは清掃の繰り返しで徐々に除去されていく。</p>	



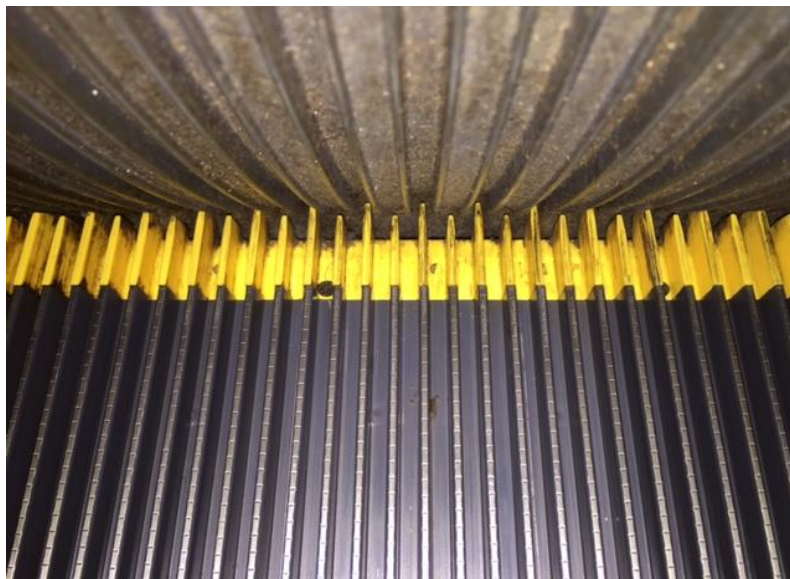
設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>清掃前とは歴然と違う美しさである。溝の底の地金がきれいに見えるようになった。わずかに取り切れない汚れは、定期清掃で確実にきれいになり、そのきれいな状態を継続して保つことができる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>エスカレーターが美しいと施設がリニューアルされた印象となる。汚れたエスカが多い中、美しいエスカは施設のブランド力のアップに大きく貢献する。中央部分の溝の底の汚れはほとんど取れている。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>清掃前と比較すると、経年経過で蓄積された埃やスラッジを見事に除去した状態。最初の汚れた状態が酷かったので汚れ度合いの違いが歴然とわかる。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>ステップがきれいになると縦のライザー部分の汚れが目立つ。但し、ステップが綺麗な状態であると縦のライザー部分も汚れにくくなる。ライザー部分の清掃キットは年内の発売予定で現在、開発中。</p>	



設備名	エスカレーター
設置場所	B1～1F
エスカレーターの幅	
800タイプ	
<b>清掃後</b>	
<p>安全性の確保のため、油分やスラッジ汚れを取る大きな目的であるが、エスカレーターが輝いて見えるのがREN清掃の特徴でもある。定期的な清掃を継続することで更に美しくなり、その美しさを継続できる。</p>	